

## 式辞

校門前の桜の花吹雪舞う、春爛漫の今日の良き日、大阪府立日根野高等学校第36回入学式を挙行いたしましたところ、多くのご来賓、保護者の皆様方のご臨席を賜り、本当にありがとうございます。高いところからではございますが、教職員一同を代表して厚く御礼申し上げます。

さて、ただいま入学を許可いたしました241名の新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。皆さんはこの春の本校の非常に厳しい入試を勝ち抜き、期待と不安に胸を膨らませ、この場所に臨んでいることかと思えます。

その可能性あふれるみなさんに、今日、私からお願いがあります。ここ日根野高校において文武両道をめざしましょう。「文」すなわち勉学に励みましょう。「武」本来の意味とは少し違いますが、充実した学校生活を送りましょう。

皆さんの中学校での3年間は新型コロナウイルスに翻弄され続け、学校行事やクラブ活動なども十分に行うことができず、思い出作りもままならなかった人もいないかと思えます。この感染症の行く末はいまだに見ることはできませんが、ここ日根野高校では思い切り高校生活を堪能してほしいと思っています。二兎を追うものは一兎も得ずということわざもありますが、本校では二兎も三兎も追うような、そんな欲張りな高校生活を送ってください。

その中でもまず第一にすべきことは、勉強をしましょう。皆さんの人生にとって日根野高校への入学は決してゴールではありません。皆さんは今、次の3年後の進路実現に向けたスタートラインに立っていることになります。今日、日本中のおよそ100万人の高校1年生が皆さんと同じスタートラインに立ち、一斉に3年後のゴールに向かって走り出したことになります。様々なレースにおいて、スタート直後の位置取りがその後の展開に大きな影響を及ぼすことは良く知られています。先んずれば人を制す、新しいことを始めるのに早すぎるということは決してありません。皆さんは今日のこの日から、3年後のゴールに向けた取り組みを始めてください。そうすることで、皆さんの3年後の進路の可能性は、大きく、豊かになります。自分の可能性を信じ、目標を高く持って3年間をすごしてください。

そして、二つ目として、クラブ活動しましょう。もちろんクラブ活動は強制ではありませんが、この中には皆さんの年代において身に着けるべき、大切な要素がたくさん含まれています。先輩や後輩と一緒に頑張って様々な困難に直面しながら、切磋琢磨し、目標に向かって努力をしていくというこの活動は、日本の経済産業省が、社会人として身に着けるべき大切な力として提唱をしている、「社会人基礎力」という12の力、課題発見力や発信力、主体性といったこのような力の育成に最もふさわしい場所であると思っています。

そして、このクラブ活動の中には、さらに大切な役割があります。友達や仲間を作ることです。皆さんは、この日根野高校の3年間で様々な大切なものを身に着けていくことになります。その中でも最も大切なものが友達であり仲間なのです。皆さんの多くは、今までいわゆる幼馴染という狭い世界の中で生きてきたこととなります。それが、高校入学と同時に世界が広がり、多くの想いや価値観を共有する人と出会うこととなります。今日皆さんは周りに見知らぬ人に囲まれ、不安を感じている人もいるかもしれません。しかし、心配はありません。例えば今日たまたま隣に座っている見知らぬ人が、自分の人生にとって大切な友達となる。そんなことは決して珍しいことではありません。皆さんは、ぜひどこかのクラブに入部をし、3年間努力をして、多くの仲間を作ってほしいと思います。

高校の国語の教科書に取り上げられている山月記という物語があり、そこには次のような記述があります。「人生は何事をもなさぬにはあまりに長い、何事かをなすにはあまりに短い」。大した思いも持たず、ただただと無為に日々を過ごす人にとっては、時間は余って仕方のないこととなります。しかし、しっかりとした目標を持ち、それに向かって努力を続ける人にとっては、時間はいくらあっても足りないこととなります。皆さんがこの日根野高校ですべきことは山ほどあります。勉強に、クラブ活動に、友達作りに、恋愛に。ぼやぼやしている暇はありません。時間が足りない悲鳴を上げるような、そんな充実した学校生活を送ることを願います。

最後になりましたが、保護者の皆様方、改めまして本日はおめでとうでございます。今日からの3年間、お子様を大切にお預かりさせていただきます。子供の成長には、家庭と学校の緊密な連携が不可欠となります。本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

さあ、新入生の皆さん、新たな扉は開かれました。皆さんの本校での3年間で充実し、実り多きものとならんことを祈念し、式辞といたします。令和4年4月8日、大阪府立日根野高等学校、校長、山本 好男。